

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2003-271527 (P2003-271527A)
 【公開日】平成 15 年 9 月 26 日 (2003.9.26)
 【出願番号】特願 2002-70318 (P2002-70318)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 13/00

H 0 4 N 1/00

H 0 4 N 1/32

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 2 5

G 0 6 F 13/00 6 1 0 B

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

H 0 4 N 1/32 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 3 月 14 日 (2005.3.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

電子メールを送信する送信装置と、この電子メールを受信し、この電子メールに対する送達確認メールを返信する受信装置とを有する通信システムであって、

前記送信装置は、

前記受信装置に送信すべき電子メールの送信指示を受け付ける毎に発生する送信受付 ID 及び前記受信装置を特定する宛先 ID を含む送信 ID、前記受信装置のメールアドレス及び前記受信装置に送達確認メールを返信させるための返信先情報とを含む電子メールを送信する送信手段を有し、

前記受信装置は、

前記送信手段で送信された電子メールを受信した際に、前記返信先情報に従った返信先に、前記送信 ID を含む送達確認メールを返信する返信手段を有することを特徴とする通信システム。

【請求項 2】

前記返信先情報は、前記送信装置のメールアドレス及び前記送信装置にて任意に選択されたメールアドレスであることを特徴とする請求項 1 に記載の通信システム。

【請求項 3】

前記受信装置は、前記送信手段で送信された電子メールを正常に処理できなかった場合に、前記送信 ID を含むエラーメールを返信することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の通信システム。

【請求項 4】

前記送信装置は、操作者による操作情報を入力する入力手段と、原稿の画像を読み取る読取手段とを有し、

前記送信手段は前記入力手段からの入力に基づき前記送信 ID、前記受信装置のメールアドレス及び前記返信先情報が設定され、前記読取手段によって読み取られた画像データを添付ファイルとした電子メールを送信することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一

項に記載の通信システム。

【請求項 5】

送信指示に従って電子メールを送信する送信手段と、

前記送信手段で送信されるべき電子メールの宛先情報及び該宛先情報に対応する送信先で返信すべき送達確認メールの返信先情報とを入力する入力手段と、

前記送信手段で送信されるべき電子メールに、当該電子メールを特定可能な送信 ID、前記入力手段で入力された宛先情報及び返信先情報とを設定し、前記送信 ID、宛先情報及び返信先情報が設定された電子メールを前記送信手段で送信させる制御手段とを有することを特徴とする通信装置。

【請求項 6】

前記送信指示を受け付ける毎に発生する送信受付 ID に基づき前記送信手段による電子メールの送信ログを管理する管理手段を有し、

前記送信 ID は前記送信受付 ID を特定可能な送信 ID であることを特徴とする請求項 5 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記送達確認メールの返信先情報として前記入力手段で入力された返信先情報の他に自装置で電子メールを受信するためのメールアドレスを設定することを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記送信 ID を含む送達確認メールを受信する受信手段を有し、

前記管理手段は前記受信手段で受信した送達確認メールに含まれる送信 ID に基づき当該送達確認メールに対応する送信ログを更新することを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の通信装置。

【請求項 9】

前記管理手段は、前記受信手段でエラーを示す送達確認メールを受信した場合、当該送達確認メールに含まれる送信 ID に基づき当該送達確認メールに対応する送信ログにその旨を記述することを特徴とする請求項 8 に記載の通信装置。

【請求項 10】

前記制御手段は、前記入力手段で入力された返信先情報を、さらに Reply - to アドレスとして電子メールに設定することを特徴とする請求項 5 乃至 9 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 11】

複数のメールアドレスを登録する登録手段を有し、

前記入力手段は前記登録手段に登録されているメールアドレスの中から宛先情報及び前記返信先情報を選択し入力することを特徴とする請求項 5 乃至 10 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 12】

原稿の画像を読み取る読取手段を有し、

前記制御手段は前記入力手段からの入力に基づき前記送信 ID、宛先情報及び返信先情報が設定され、前記読取手段によって読み取られた画像データを添付ファイルとした電子メールを前記送信手段で送信させることを特徴とする請求項 5 乃至 11 の何れか一項に記載の通信装置。

【請求項 13】

電子メールを送信する送信装置と、この電子メールを受信し、この電子メールに対する送達確認メールとして返信する受信装置とを有する通信システムにおける通信方法であって、

前記送信装置において、

前記受信装置に送信すべき電子メールの送信指示を受け付ける毎に発生する送信受付 ID 及び前記受信装置を特定する宛先 ID を含む送信 ID、前記受信装置のメールアドレス及び前記受信装置に送達確認メールを返信させるための返信先情報とを含む電子メールを

送信し、

前記受信装置において、

前記送信装置から送信された電子メールを受信した際に、前記返信先情報に従った返信先に、前記送信IDを含む送達確認メールを返信することを特徴とする通信方法。

【請求項14】

送信されるべき電子メールの宛先情報及び該宛先情報に対応する送信先で返信すべき送達確認メールの返信先情報とを入力し、

送信されるべき電子メールに、当該電子メールを特定可能な送信ID、前記入力された宛先情報及び返信先情報とを設定し、前記送信ID、宛先情報及び返信先情報が設定された電子メールを送信することを特徴とする通信装置における通信方法。

【請求項15】

コンピュータを請求項5乃至12の何れか一項に記載の手段として機能させるためのプログラム。

【請求項16】

請求項15に記載のプログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電子メールを送信する送信装置とこの送信された電子メールに対する送達確認メールを返信する受信装置とを有する通信システム、該通信システムにおける通信方法、電子メールを送信する通信装置、該通信装置における通信方法に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は上記課題を解決するためになされたもので、電子メールを送信した際、送信先に正常に届いたかどうかを簡単に確認できる通信システム、通信装置及び通信方法を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、電子メールを送信する送信装置と、この電子メールを受信し、この電子メールに対する送達確認メールを返信する受信装置とを有する通信システムであって、前記送信装置は、前記受信装置に送信すべき電子メールの送信指示を受け付ける毎に発生する送信受付ID及び前記受信装置を特定する宛先IDを含む送信ID、前記受信装置のメールアドレス及び前記受信装置に送達確認メールを返信させるための返信先情報とを含む電子メールを送信する送信手段を有し、前記受信装置は、前記送信手段で送信された電子メールを受信した際に、前記返信先情報に従った返信先に、前記送信IDを含む送達確認メールを返信する返信手段を有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0012】

また、上記目的を達成するために、本発明の通信装置は、送信指示に従って電子メールを送信する送信手段と、前記送信手段で送信されるべき電子メールの宛先情報及び該宛先情報に対応する送信先で返信すべき送達確認メールの返信先情報とを入力する入力手段と、前記送信手段で送信されるべき電子メールに、当該電子メールを特定可能な送信ID、前記入力手段で入力された宛先情報及び返信先情報とを設定し、前記送信ID、宛先情報及び返信先情報が設定された電子メールを前記送信手段で送信させる制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0013】

更に、上記目的を達成するために、本発明は、電子メールを送信する送信装置と、この電子メールを受信し、この電子メールに対する送達確認メールとして返信する受信装置とを有する通信システムにおける通信方法であって、前記送信装置において、前記受信装置に送信すべき電子メールの送信指示を受け付ける毎に発生する送信受付ID及び前記受信装置を特定する宛先IDを含む送信ID、前記受信装置のメールアドレス及び前記受信装置に送達確認メールを返信させるための返信先情報とを含む電子メールを送信し、前記受信装置において、前記送信装置から送信された電子メールを受信した際に、前記返信先情報に従った返信先に、前記送信IDを含む送達確認メールを返信することを特徴とする。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0014】

更に、上記目的を達成するために、本発明の通信装置における通信方法は、送信されるべき電子メールの宛先情報及び該宛先情報に対応する送信先で返信すべき送達確認メールの返信先情報とを入力し、送信されるべき電子メールに、当該電子メールを特定可能な送信ID、前記入力された宛先情報及び返信先情報とを設定し、前記送信ID、宛先情報及び返信先情報が設定された電子メールを送信することを特徴とする。

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0113
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0113】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、送信装置が、送信受付IDと受信装置を特定する宛先IDを含む送信IDを含む電子メールを送信し、受信装置ではこの送信IDを含む送達確認メールを返信するので、この送達確認メールによりどの送信受付IDに対応する送信でどの受信装置に送信したものであるかが簡単に確認できる。

【手続補正9】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 1 4 】

また、電子メールを送信する際に送達確認メールの返信先情報を入力し、これが設定された電子メールを送信するので、所望の返信先に送達確認メールを返信させることができる。